

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会企画 比企の歴史まるわかり！9市町村広報リレー 小川町版



鎌倉 妙本寺総門



比企一族が眠る墓域 妙本寺境内

～比企一族と 「鎌倉殿の13人」～

源頼朝は13歳の時、平治の乱で父・義朝が破れ、伊豆の蛭ヶ小島に流罪となりました。

厳しい生活を送る頼朝に、乳母で養育係であった比企禪尼は、比企の地から比企能員とともに、平家のとがめを怖れず20年間にわたって支援を続けました。この恩に頼朝は、鎌倉に幕府を開くと比企一族に、現在の比企谷と妙本寺周辺に広大な土地と屋敷を与えました。

比企一族と将軍との間に姻戚関係が深まり、幕府の重責を担うようになると、幕府の実権をねらう北条時政にとっては重大な懸念材料となりました。頼朝が落馬事故で死去し、頼家が2代将軍になるとその実権を取り上げ、13人の有力御家人による合議体制を一方的に決定。「鎌倉殿の13人」の誕生です。

～鎌倉と小川を結んだ仙覚～

仙覚律師とは

鎌倉時代の僧侶で13歳から鎌倉の新釈迦堂等で修業をしながら、『万葉歌』の研究に一生を打ち込みました。難しい悉曇文字や万葉仮名のため、全く読めなかった152首を含め4500首以上の歌を64歳で全て読み『万葉集』を完成させた人物です。

仙覚律師と小川町

『万葉集』完成後、仙覚律師の研究地が小川町に移ります。難解な『万葉集』を後世に託すには、解説書が重要であるとして編さんにとりかかり、日本初の『万葉集註釈』を小川町で完成させました。

『万葉集註釈』奥書に「文永6（1269）年3月2日に麻師宇郷で書写した」と仙覚が書き残しています。小川町が『万葉集』のゆかりの地であることを物語っており、業績をたたえる4mを超える仙覚律師顕彰碑が中城跡に建つ所以です。

～比企一族の滅亡と仙覚～

比企能員も「13人」の1人です。

しかし、実権を握ったのは北条時政・政子です。ここから陰謀と抗争、暗殺がはじまり、比企一族が悲運に見舞われました。時政は薬師如来の落慶法要と偽って能員を私邸に呼び出し暗殺、さらに大軍で比企の館を襲い一族を滅亡させました。これが比企の乱です。

この年、仙覚が常陸国（茨城県）で生まれており、比企一族と深い係りのある人物と伝わります。

小川町・仙覚律師遺跡碑

高さ4m・横1.2m

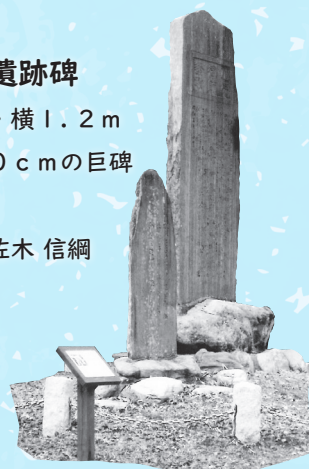
厚さ20cmの巨碑

撰文

佐佐木 信綱



小川町イメージキャラクター
『星夢ちゃん』



1月は比企一族の菩提寺「金剛寺」のある川島町です。

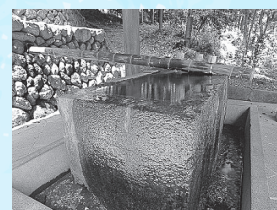
問合せ 小川町にぎわい創出課 観光・地域PR担当 ☎72-1221

～栄光の朝日将軍から悲劇の武将へ～

木曾義仲 波瀾の生涯

鎌倉幕府誕生につながる源平合戦、その歴史の中で一時は武将として頂点を極めたものの、その後の権力争いに敗れ悲劇の武将となった「木曾義仲」。来年1月放送開始の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する義仲の波瀾に満ちた生涯をご紹介します。

嵐山町鎌形で産まれたとされる義仲。鎌形八幡神社には義仲誕生の際に産湯を沸かしたとされる清水がある。



嵐山町に
産まれる

1154年



木曾へ逃れる

嵐山町大蔵で起きた大蔵合戦。この勢力（家督）争いで父親を亡くすが、義仲は木曾（長野県）へ逃れる。



※

1180年

平家追討の
ため挙兵

火牛の計を用いた「倶利伽羅峠の戦い」等で平家の大軍を相手に連勝を重ねる。

火牛の計

500頭の牛の角に松明をつけて平家軍に夜襲をかけたという戦史に残る有名な戦略



※

1183～84年



京都から平家を
追い出し武将と
しての栄華を極
める

後白河法皇から朝日将軍の称号を賜り、後に征夷大将軍にも任じられる等、武将として最高の栄誉を勝ち得た。

1184年

権力争いに敗れ
討ち死に

義仲の勢いを恐れた後白河法皇は義仲を遠ざけるようになる。源氏の棟梁の座を争う源頼朝と手を組んだ後白河法皇の謀略により、義仲は31歳で非業の死を遂げる。

※写真提供：富山県小矢部市

缶バッジ発売中！



カッコいい&かわいいイラスト入り

「木曾義仲」とその妻「山吹姫」の缶バッジが出来ました。義仲の大河ドラマ登場記念として、購入してはいかがですか。

販売場所

ステーションプラザ嵐なび（武蔵嵐山駅西口）

価格 500円（税込）

大河ドラマ
「鎌倉殿の13人」
詳細はこちらから



NHKホームページ



ドラマ公式ツイッター

問合せ 地域支援課 ☎62-2152